

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理国語	3	2年 1類 (A・C型)	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
****		精選論理国語 (東京書籍)	漢字トレーニング(いっずな書店)

科目の到達目標 言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について a (知識・技能) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 b (思考・判断・表現) 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 c (主体的に学習に取り組む態度) 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 以上の観点について、定期テスト・レポート・小テストなどを通して確認する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論 「ミロのヴィーナス」 清岡卓行	・想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。	・逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。
	5	「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫 1 学期中間考査	・言語と自我の構造の関係について考えを深める。	・筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。
	6	評論 「メディアの変容」 土井隆義 「消費されるスポーツ」 多木浩二	・現代の人間関係の在り方を論じた評論を読み、自分の考えを深める。 ・現代社会における、スポーツの発展とメディアの関係性を考察する。	・事例と筆者の分析の関係性に注意して読み、人間関係の在り方を考察する。 ・筆者の意見を的確に捉え、メディアが果たす社会の形成を考察する。
	7	小論文指導 1 学期期末考査	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「日本人の美意識」 高階秀爾	・抽象的な表現を、様々な具体例を通じて理解し、自身が抽象的な物事を言語化する力を養う。 ・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・抽象論を論旨に沿って理解し、日本人の性格について考える。 ・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	10	「言語と記号」 丸山圭三郎 2学期中間考査		
	11	評論 「鏡の中の現代社会」 見田宗介 「原始社会像の真実」 新納泉	・近代を論じた評論を読み、現代社会における生き方を見直す。 ・論理的な文章を的確に読み取った上で、常識を鵜呑みにせず批判的な思考を養う。	・近代的価値観の特徴を理解し、私たちの生きる現代社会を見直すことで、新しい社会の在り方を模索する。 ・論理を的確にたどり、深い思索が幅広い知識に支えられていることを理解する。
	12	小論文指導 2学期期末考査		
三 学 期	1	評論 「社会が壊れるとき」 鷲田清一	・論理の構成を把握し、説得力のある展開の方法を身につける。 ・社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に理解する。	・引用と筆者の意見を整理し、論旨を把握する。 ・抽象的な表現を具体的に理解し、筆者が述べる問題点を理解する。 ・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。
	2	「抗争する人間」 今村仁司		
	3	小論文指導 学年末考査	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理国語	2	2年・1類・B型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	精選論理国語（東京書籍）	セレクト漢字トレーニング 等	

科目の到達目標
・現代の国語での学習を基礎として、論理的思考の過程や構成を学び、社会におけるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力をより確かなものにする。
・語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにすることで自己表現力を高め、小論文を書く力を養う。
・多様化しつつある大学入試に対応できる国語力を身に付ける。

評価の観点と方法について
・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。
・漢字小テストを実施し、知識の評価の一部とする。
・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、小論文教材と課題をもって思考力・判断力・表現力を評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「いつもそばには本があった」 小林康夫 「論理とは何か」 「論証する力」 「要約する力」	・読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。 ・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことを学ぶ。	・「ペニアーの状態」から「欲望のプロセス」に至る方法を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行うための演習を行う。 ・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約するための演習を行う。
	5	「ミロのヴィーナス」 清岡卓行 問題演習 1学期中間考査	・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解する。
	6	小論文指導 「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	・日本語の「相対的な自己表現の言語習慣」と「日本人の自我の構造」のつながりを理解する。
		「科学的『発見』とは」 小川眞理子	・本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取る。
	7	「資料を整理し、テーマを吟味する」 問題演習 1学期末考査・夏期講習	・資料を集めてさまざまな観点から整理し、テーマを吟味する。	・収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「分人とは何か」 平野啓一郎	・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	・「個人」という概念と、「本当の自分」との関連性を読み取る。
		「メディアの変容」 土井隆義	・挙げられている事例と筆者の分析の関連性に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。	・近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かった時代と比較して読み取る。
	10	「仮説を立てて検証する」 問題演習	・仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解する。
		2学期中間考査		
		小論文指導		
三 学 期	11	「リスク」と「リスク社会」 神里達博	・対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。	・近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リスク」の増大の関連を読み取る。
		『環境』とは何か 上垣崇英	・「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。	・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取る。
	12	問題演習		
		2学期末考査・冬期講習		
	1	小論文指導		
三 学 期		『「である」ことと『する』こと』 丸山真男	・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。	・「である」価値と「する」価値の倒錯の内容を読み取る。
	2	「消費されるスポーツ」 多木浩二	・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。	・スポーツと「社会」の関連性について、「活動の総体」としての「社会」と、アプリアリに存在する「社会」という捉え方の違いを踏まえて理解する。
	3	問題演習 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・漢字の小テストを活用して漢字・熟語の知識の定着を図ること。
- ・実戦力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。
- ・志望理由書・入試小論文対策として、志望大学・学部とその専門について探究すること。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理国語	3	2年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	精選論理国語（東京書籍）	現代文キーワード集・演習用問題集 等	

科目の到達目標
・現代の国語での学習を基礎として、論理的思考の過程や構成を学び、社会におけるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力をより確かなものにする。
・語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにすることで自己表現力を高め、小論文を書く力を養う。
・多様化しつつある大学入試に対応できる国語力を身に付ける。

評価の観点と方法について
・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。
・漢字小テストを実施し、知識の評価の一部とする。
・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、小論文教材と課題をもって思考力・判断力・表現力を評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	「いつもそばには本があった」 小林康夫 「論理とは何か」 「論証する力」 「要約する力」 「ミロのヴィーナス」 清岡卓行	・読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。 ・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことを学ぶ。 ・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	・「ペニアーの状態」から「欲望のプロセス」に至る方法を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行うための演習を行う。 ・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約するための演習を行う。 ・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解する。
	5	「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫 問題演習 1学期中間考査 小論文指導	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	・日本語の「相対的な自己表現の言語習慣」と「日本人の自我の構造」のつながりを理解する。
	6	「科学的『発見』とは」 小川眞理子 「分人とは何か」 平野啓一郎 「資料を整理し、テーマを吟味する」	・本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 ・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。 ・資料を集めてさまざまな観点から整理し、テーマを吟味する。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取る。 ・「個人」という概念と、「本当の自分」との関係性を読み取る。 ・収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。
	7	「メディアの変容」 土井隆義 問題演習 1学期末考査・夏期講習	・挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。	・近年のネット環境と人間関係への依存度に関連性を、「制度的な枠組み」が強かった時代と比較して読み取る。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「リスク」と「リスク社会」 神里達博	・対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。	・近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リスク」の増大の関連を読み取る。
	10	『環境』とは何か 上垣崇英	・「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。	・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取る。
		「仮説を立てて検証する」	・仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解する。
		『である』ことと『する』こと 丸山真男	・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。	・「である」価値と「する」価値の倒錯の内容を読み取る。
		問題演習 2学期中間考査 小論文指導		
	11	「消費されるスポーツ」 多木浩二	・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。	・スポーツと「社会」の関連性について、「活動の総体」としての「社会」と、アブリオリに存在する「社会」という捉え方の違いを踏まえて理解する。
三 学 期	12	「日本人の美意識」 高階秀爾	・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。	・日本人の美意識が倫理観と結びつき、生活行動全般にまで及んでいるという筆者の考えを読み取る。
		「地図の想像力」 若林幹夫	・提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。	・「言語」と「地図」の共通性を捉え、「描き手」と「読み手」により「地図」が生みだすものについての筆者の考えを読み取る。
	1	問題演習 2学期末考査・冬期講習		
		小論文指導 「混じり合う言葉」 ドミニク・チェン	・筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見方を広げる。	・「言語的相対論」の考え方を理解し、言語と人間の「環世界」についての筆者の主張を読み取る。
三 学 期	2	「言語と記号」 丸山圭三郎	・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。	・従来の記号学における記号観と、その範疇を超える言語記号の特殊性を、各具体例に即して理解する。
		「環境問題と孤立した個人」 河野哲也	・取り上げられる話題をたどりながら近代の自然観を捉え、環境問題についての考えを深める。	・「近代科学の自然観」における「二元論的な認識論」を捉え、「環境問題」との関連性を理解して主要な論点を読み取る。
	3	問題演習 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・漢字の小テストを活用して漢字・熟語の知識の定着を図ること。
- ・実戦力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。
- ・志望理由書・入試小論文対策として、志望大学・学部とその専門について探究すること。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理国語	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	精選論理国語（東京書籍）	現代文キーワード集・演習用問題集 等	

科目の到達目標
・現代の国語での学習を基礎として、論理的思考の過程や構成を学び、社会におけるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力をより確かなものにする。
・語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにすることで自己表現力を高め、小論文を書く力を養う。
・多様化しつつある大学入試に対応できる国語力を身に付ける。

評価の観点と方法について
・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。
・漢字小テストを実施し、知識の評価の一部とする。
・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、小論文教材と課題をもって思考力・判断力・表現力を評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「いつもそばには本があった」 小林康夫 「論理とは何か」 「論証する力」 「要約する力」	・読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。 ・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことを学ぶ。	・「ペニアーの状態」から「欲望のプロセス」に至る方法を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行うための演習を行う。 ・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約するための演習を行う。
	5	「ミロのヴィーナス」清岡卓行 問題演習 1学期中間考査	・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	・両腕のないヴィーナス像の持つ普遍的価値について、具体と抽象の関係性を捉えて筆者の主張を理解する。
	6	小論文指導 「科学的『発見』とは」小川眞理子 「分人とは何か」平野啓一郎	・本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 ・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取る。 ・「個人」という概念と、「本当の自分」との関係性を読み取る。
	7	「資料を整理し、テーマを吟味する」 問題演習 1学期末考査・夏期講習	・資料を集めてさまざまな観点から整理し、テーマを吟味する。	・収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「リスク」と「リスク社会」 神里達博	・対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。	・近代化の進展に伴う二つの変化と、それによる二つの「リスク」の増大の関連を読み取る。
		『環境』とは何か 上垣崇英	・「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。	・筆者が「環境」を考えるうえで重要とすることについて読み取る。
	10	「仮説を立てて検証する」 問題演習 2学期中間考査 小論文指導	・仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解する。
	11	「消費されるスポーツ」 多木浩二 「日本人の美意識」 高階秀爾	・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。 ・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。	・スポーツと「社会」の関連性について、「活動の総体」としての「社会」と、アприオリに存在する「社会」という捉え方の違いを踏まえて理解する。 ・日本人の美意識が倫理観と結びつき、生活行動全般にまで及んでいるという筆者の考えを読み取る。
	12	問題演習 2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	小論文指導 「混じり合う言葉」 ドミニク・チェン	・筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見方を広げる。	・「言語的相対論」の考え方を理解し、言語と人間の「環世界」についての筆者の主張を読み取る。
	2	「言語と記号」 丸山圭三郎 問題演習	・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。	・従来の記号学における記号観と、その範疇を超える言語記号の特殊性を、各具体例に即して理解する。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・漢字の小テストを活用して漢字・熟語の知識の定着を図ること。
- ・実戦力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。
- ・志望理由書・入試小論文対策として、志望大学・学部とその専門について探究すること。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
****		新編 論理国語（東京書籍）	漢字トレーニングセレクト(いっすな書店)

科目の到達目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
知識及び技能 ：実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等 ：論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等 ：言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
・漢字の書き取り作業や小論文テキストを評価の一部とする。
・Google フォームなどで各自の理解度や表現力を確認し、評価に加える。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「対話とは何か」 細川英雄	・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。	・「対話」と「おしゃべり」の違いを理解したうえで、ふだんの生活の中でどんなときに「おしゃべり」をし、どんなときに「対話」をしているかを振り返る。
	5	「世界を作り変えるために」 小林康夫	・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	・「学ぶためのもう一つのポイント」である「思考の基本」について、読み取り、まとめる。(手引き5)
	6	1 学期中間考査		・自分の中にある、学ぶことに関する「種」について、話し合う。
		「少女たちの『ひろしま』」 梯久美子	・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。	・粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深める。
		「ふしぎということ」 河合隼推	・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。	・「自然科学」の方法と「物語」の違いについて理解する。
	7	資料を整理し、テーマを吟味しよう	・資料を集めてさまざまな観点から整理し、テーマを吟味する。	論点を整理したことで見えてきた、テーマについての自分の立場や意見、問題意識をまとめる。
		1 学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	小論文指導		
	10	「学ぶことと人間の知恵」 広中 平祐	・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。	・「知恵」の「広さ」「深さ」「強さ」それぞれについて整理し、まとめる。
	11	「思考の肺活量」 鷲田清一 2学期中間考査	・比喻表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。	・「思考」のために必要な「肺活量」とはどのようなものか理解する。
	12	「安心について」 広淵 柊彦	・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。	・「安心」というものを筆者がどのように捉えているか考える。
	12	「複数のわたし」 松村圭一郎 2学期期末考査	・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。	・「別の『わたし』」が「他者によって引き出される」とは、どのようなことか、読み取る。
三 学 期	1	小論文指導		
	2	「はじめに『言葉』がある」	・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。	・「その心の向かい方」とは、どのようなことか、読み取る。
	3	「楽に働くこと、楽しく働くこと」 小関智弘 3学期期末考査	・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。	・「工場のものづくり」がどのようなものを理解し、近代工場での労働の「楽しさ」と「楽しさ」についてまとめる。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・主述や指示語・接続詞など日本語文法を理解し、論理的読解ができるように単元ごとの読解法を習得した上で、随時文章を書かせる指導をする。
- ・漢字力強化にも力を注ぎ、日本語の正しい知識も身につけさせる。
- ・図書館での読書活動や chromebook での情報収集を通して、さまざまな分野への興味・関心を広めたり、自分の研究テーマを持って調べ学習を展開したり、情報リテラシー能力を養う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典探求	3	2年1類A・C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	精選古典探求(東京書籍)	古文単語 330 (いっずな書店)	

科目の到達目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

評価の観点と方法について a(知識・技能)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。b(思考・判断・表現)「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。c(主体的に学習に取り組む態度) 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	・説話に叙述された世界を読み味わう。	・説話を読み、一年次に習った文法事項の復習をしながら、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・敬語表現の基本的な知識を得させる。 (敬語の種類)
	5	説話『古今著聞集』 「能は歌詠み」		
		漢文「先従隗始」	・故事成語の由来を正しく理解する。	・漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解させる。 ・話の内容を正確に理解させる。
	6	1学期中間考査		
		物語『伊勢物語』 「初冠」	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・歌物語を読み、登場人物の心情や行動について考えさせる。 ・和歌の基本的な知識を身につける。
		随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」 「宮に初めて参りたるころ」	・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れる。 ・敬語表現の使われ方を理解する。 (敬意の方向等)
	7	漢文「不死之薬」	・句法及び訓読の基本について、理解させる。	・話の流れや場面を正確に理解させる。
		1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更級日記』 「門出」 「物語」	・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。	・日記を読み、作者の心情を読み取りながら、当時の女性の生き方について考える。
	10	漢文『史記』 「四面楚歌」 2学期中間考査	・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。
	11	日記『蜻蛉日記』 「なげきつつひとり寝る夜」 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」	・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。 ・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・日記を読み、作者の心情を読み取りながら、当時の女性の生き方について考える。 ・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取らせる。
	12	漢文『史記』 「項王自刎」 2学期末考査	・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。
三 学 期	1	歴史物語『大鏡』 「鶯宿梅」	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・歴史物語を読み、登場人物が政治の世界でどのように生きたかを理解させる。
	2	随筆『徒然草』 「悲田院の堯蓮上人は」 漢文「五柳先生伝」	・作者のものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、考えを深める。 ・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れる。 ・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。
	3	学年末考査		
その他（履修上の留意点） ・ 予習として、古文は音読・単語調べを、漢文は音読・書き下し文をしておくこと。 ・ 古文単語小テストを実施し、主体的に学習に取り組む態度の評価に組み込む。				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典B	2	2年1類B型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
****		精選古典探究(東京書籍)	古文単語帳等

科目の到達目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知識・技能 ：生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 思考力、判断力、表現力等 ：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 学びに向かう力、人間性等 ：言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。
なお、古文単語小テストを定期的に実施、課題テストと併せて、評価の一部とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 説話『古今著聞集』 「能は歌詠み」	・展開のおもしろさを味わいながら、説話や漢文の読み方を正確に読み取る。	・「読むこと」において、説話であることを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・敬語を手掛かりに主語を把握し、読解する。
	5	漢文「先従隗始」 1学期中間考査		・句法及び訓読の基本について、理解させる。
		物語『伊勢物語』 「初冠」	・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	・「春日野の…」の歌と「陸奥の…」の歌を比較し、前者の表現の工夫をまとめる。
	6	随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」 漢文「不死之薬」	・随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。 ・展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を正確に読み取る。	・場面を読み取り、発言の主体と動作とを把握する。 ・各段落の内容を理解し、「中射之士（警護の者）」の意図を読み取る。
	7	1学期末考査		・句法及び訓読の基本について、理解させる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更級日記』 「門出」 「物語」	・他の作品との関係も踏まえながら 日記を読み、作者の境遇を的確に 捉える。	・作品全体の冒頭部分としての意味を考 え、この日記の構造と主題を理解す る。 ・「まづいとはかなく、あさまし。」とい う表現に注目して、少女時代の物語耽 溺に対する晩年の思いを知る。
	10	日記『和泉式部日記』 「なげきつつひとり寝る夜」		
		漢文『史記』 「四面楚歌」	・『史記』を読み、項羽の生き方 を通して人間のあり方につい て関心を深める。	・本文に至るまでの経緯を理解した 上で、本文や関連書を読んで項羽 の生き方について理解する。
	11	2学期中間考査		
		物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」「若紫」	・作り物語の内容を的確に読み 取り、その魅力を味わう。	・これまでの学習を発展させ、文章 内容を的確に理解する。
二 学 期		歴史物語『大鏡』 「鶯宿梅」	・作品の特色に注意しながら、 歴史物語の内容を的確に捉え る。	・紀貫之の娘や村上天皇の心情を読 み取り、繁樹の言いたいことをま とめ、表面上には書かれていない 繁樹の心情を推測する。
	12	漢文「項王自刎」	・『史記』を読み、項羽の生き方 を通して人間のあり方につい て関心を深める。	・本文内容に到るまでの経緯を理解 した上で、本文や関連書を読んで 項羽の生き方について理解する。
		2学期末考査		
三 学 期	1	随筆『徒然草』 「悲田院の堯蓮上人は」 「世に従はん人は」	・随筆に表れている作者の主張 を読み取り、ものの見方、感 じ方、考え方を深める。	・作者の堯蓮上人への評価の変化を 理解する。 ・四季の移り変わり、「生、老、 病、死の移り来たること」との対 応を捉える。
	2	文「五柳先生伝」	・文章の構成や展開を理解し、 さまざまなものの見方、考え 方に触れる。	・本文に見える作者陶潜の人生観に ついて考える。
	3	学年末考査		
その他（履修上の留意点） ・授業で学習した内容は3回復習すること。 ・古文単語小テストを実施し、成績に組み込む。 ・模擬試験前には過去問題の演習にも取り組み、その時期までの学習内容の理解度を確認すること。 ・自分に合った参考書・問題集を探し、知識や思考力の定着を図ること。				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典探求	4	2年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	精選古典B(東京書籍)	古文単語集・古典文法・漢文参考書・問題集	

科目の到達目標
・言語文化での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、現代にも通じるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、古典の読解力を確かなものにする。
・古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな日本の古典文学を読み味わうとともに、解釈力を高める。
・漢文の句法と用字法を体系的に学習し、漢文の読解力を高めるとともに日本古典や現代への影響を学ぶ。
・共通テスト・難関大入試に対応できる基礎学力を身に付ける。

評価の観点と方法について
・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。
・古文単語小テストを実施し、知識の評価の一部とする。
・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、論述課題を持って思考力・判断力・表現力を評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	説話『宇治拾遺物語』 『古今著聞集』 物語『伊勢物語』	・展開のおもしろさを味わいながら、説話を正確に読み取る。 ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・和歌と本文の内容との関係を正確に読み取る。
	5	漢文「小話六編」 問題演習 1学期中間考査	・展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を確認する。	・漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。
		物語『大和物語』	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
	6	随筆『枕草子』 漢文「近体詩一八首」	・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。 ・近体詩の形式に親しむとともに漢詩を読む楽しさを知る。	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ・詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。
		『史記』「鴻門之会」 「四面楚歌」「項王自刎」 問題演習	・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。
	7	1学期末考査 夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	軍記『平家物語』	・物語を読むことを通して、中世という混乱した時代についての理解を深める。	・朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりする。
		随筆『方丈記』 『徒然草』 『玉勝間』	・さまざまな随筆を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察する。	・随筆に表れている作者の主張を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
	10	漢文『論語』 『孟子』 『荀子』 問題演習 2学期中間考査	・思想の異なる三人の儒家の文章を読み、各テーマに対する共通点や相違点を理解する。	・儒家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。
		日記『更級日記』 『蜻蛉日記』	・日記に表れている作者のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	・日記を読み、作者の境遇や出来事を的確に捉える。
	11	物語『源氏物語』	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。
		漢文『世説新語』 『太平広記』 問題演習 2学期末考査 冬期講習	・発想や表現の特色を理解し、中国の小説のおもしろさを味わう。	・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
三 学 期	1	物語『大鏡』	・関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考察する。	・『大鏡』を読み、登場人物の行動や心情を捉える。
	2	和歌「八代集の世界」「歌合」「歌論」「歌謡」	・歌合・歌論を含めて、和歌を多角的に学習し、さらに歌謡を合わせて日本の「うた」を総合的に捉える。	・和歌、歌合、歌論の内容を読み取り、日本の「うた」についての理解を深める。
		漢文「古詩一五首」 『老子』『荘子』	・古体詩を読み、その特色を理解する。 ・思想の異なる二人の道家の文章を読み、共通点や相違点を理解する。	・詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わう。 ・道家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。
	3	問題演習 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・古文についても漢文についてもできるだけ音読予習を心掛けること。
- ・古文単語小テストや漢文句法小テストを活用して古文単語や漢文句法の知識定着を図ること。
- ・実戦力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典探求	3	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	精選古典B(東京書籍)	古文単語集・古典文法・漢文参考書・問題集	

科目の到達目標
・言語文化での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、現代にも通じるものの見方、考え方の発展につなげるとともに、古典の読解力を確かなものにする。
・古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな日本の古典文学を読み味わうとともに、解釈力を高める。
・漢文の句法と用字法を体系的に学習し、漢文の読解力を高めるとともに日本古典や現代への影響を学ぶ。
・共通テスト・難関大入試に対応できる基礎学力を身に付ける。

評価の観点と方法について
・教科書の各単元教材の理解度を定期考査で検証するとともに、知識・思考力・判断力を評価する。
・古文単語小テストを実施し、知識の評価の一部とする。
・授業態度と課題の提出をもって主体的に取り組む態度を評価し、論述課題を持って思考力・判断力・表現力を評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	説話『宇治拾遺物語』 『古今著聞集』 物語『伊勢物語』	・展開のおもしろさを味わいながら、説話を正確に読み取る。 ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。 ・和歌と本文の内容との関係を正確に読み取る。
	5	漢文「小話六編」 問題演習 1学期中間考査	・展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を確認する。	・漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。
		物語『大和物語』	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
	6	随筆『枕草子』 漢文「近体詩一八首」	・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。 ・近体詩の形式に親しむとともに漢詩を読む楽しさを知る。	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ・詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。
		『史記』「鴻門之会」 「四面楚歌」「項王自刎」 問題演習	・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。
	7	1学期末考査 夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	軍記『平家物語』	・物語を読むことを通して、中世という混乱した時代についての理解を深める。	・朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりする。
		随筆『方丈記』 『徒然草』 『玉勝間』	・さまざまな随筆を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方の違いについて考察する。	・随筆に表れている作者の主張を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
	10	漢文『論語』 『孟子』 『荀子』 問題演習 2学期中間考査	・思想の異なる三人の儒家の文章を読み、各テーマに対する共通点や相違点を理解する。	・儒家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。
		日記『更級日記』 『蜻蛉日記』	・日記に表れている作者のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	・日記を読み、作者の境遇や出来事を的確に捉える。
	11	物語『源氏物語』	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。
		漢文『世説新語』 『太平広記』 問題演習 2学期末考査 冬期講習	・発想や表現の特色を理解し、中国の小説のおもしろさを味わう。	・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。
三 学 期	1	物語『大鏡』	・関心を持った事柄について調べ、古典や日本の文化について考察する。	・『大鏡』を読み、登場人物の行動や心情を捉える。
	2	和歌「八代集の世界」「歌合」「歌論」「歌謡」	・歌合・歌論を含めて、和歌を多角的に学習し、さらに歌謡を合わせて日本の「うた」を総合的に捉える。	・和歌、歌合、歌論の内容を読み取り、日本の「うた」についての理解を深める。
		漢文「古詩一五首」 『老子』『荘子』	・古体詩を読み、その特色を理解する。 ・思想の異なる二人の道家の文章を読み、共通点や相違点を理解する。	・詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わう。 ・道家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。
	3	問題演習 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・古文についても漢文についてもできるだけ音読予習を心掛けること。
- ・古文単語小テストや漢文句法小テストを活用して古文単語や漢文句法の知識定着を図ること。
- ・実戦力を養うために、問題演習や出された課題にしっかりと取り組むこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典探究	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	新編古典探究（東京書籍）	プリントなど	

科目の到達目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知識・技能 ：生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 思考力、判断力、表現力等 ：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 学びに向かう力、人間性等 ：言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点と方法について
古典教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合いを定期考査で検証する。
定期考査と平常点（提出物など）により、総合的に評価する。また創作活動などに於いては意欲や授業に対する積極性を対象とし、平常点として考慮していく。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
学期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	・展開のおもしろさを味わいながら、説話を正確に読み取る。	・説話文学の特色を理解し、説話の面白さを理解する。
	5	『十訓抄』「大江山の歌」	・和歌を含んだ説話を読み取り、展開のおもしろさを捉える。	・「係り結び」とその効果を理解する。 ・和歌の修辭を理解する。
		1学期中間考査		
	6	説話『宇治拾遺物語』 「空を飛ぶ倉」	・絵巻の内容も踏まえながら説話を読み取り、内容についての理解を深める。	・絵巻と本文とを関連付けて捉え、学習課題に沿って内容についての理解を深める。
	7	随筆『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」	・随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	・随筆文学が、作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。
		1学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更科日記』 「門出」 「物語」	・日記を読み、作者の心情を的確に捉える。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。 ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	・門出にあたっての作者の心情を読み取る。 ・「源氏の物語」を読む感動はどのように描かれているか、まとめる。 ・作者のどのような行動が中宮の心になったのかを読み取る。 ・最終部の評語から、この章段の主題を考える。
	10	2学期中間考査		
	11	随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」		
	12	歌物語『伊勢物語』 「初冠」 2学期末考査		
三 学 期	1	歌物語『大和物語』 「嫉捨」	・歌物語に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを深める。 ・作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に読み取る。	・男が「をば」を迎えに行ったきっかけを読み取る。 ・「小倉山…」の歌を解釈し、用いられている修辞等からこの歌の特徴を挙げる。 ・公任が後悔している心情を考える。
	2	歴史物語『大鏡』 「三船の才」		
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）